

1. 科目名 (単位数)	福祉行財政と福祉計画 (2単位)	3. 科目番号	SSMP3103
2. 授業担当教員	三田 真外		SCMP3103
4. 授業形態	講義、グループ討議等	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	<p>市場の失敗が問われている現在、これからは福祉分野においても、行政の役割が市場機能より重要になると考えられる。こうした問題意識から本講義は福祉と関連し、パブリック（行政）が行っている事について以下の点を中心に学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉の行財政の実施体制（国・都道府県・市町村の役割、国と地方の関係、財源、組織及び団体、専門職の役割を含む。）について理解する。 ・福祉行財政の実際について理解する。 ・福祉計画の意義や目的、主体、方法、留意点について理解する。 		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉分野において市場の失敗と行政の機能の変化について理解し、説明することができる。 2. 福祉サービスの担い手として行政組織の役割について学習し、理解を深める。 3. 福祉予算と福祉サービスの関係について学び、説明できるようになる。 4. 福祉計画の理論と技法について、また、福祉計画がなぜ重要になってきたのかについて学び、説明できるようになる。 5. 福祉行政の過程すなわち、plan→do→see→feed back について学び、理解を深める。 6. 福祉計画の策定のとき、なぜ住民参加が重要なのかについて理解し、説明することができる。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート 課題	学習の理解度をみるレポート課題（1500字以上）を数回実施する。レポートの作成方法・構成等の詳細については授業にて説明する。その他、授業の進行状況に応じて指示する。		
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 社会福祉士養成講座編集委員会 『福祉行財政と福祉計画』中央法規。</p> <p>【参考書】 坂田周一『社会福祉計画』有斐閣。</p>		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉構造改革以後、変わった福祉行政のやり方について理解できたか 2. 福祉財政についてその内容と課題について理解できたか 3. 地域福祉と福祉計画地に関連し、それぞれの福祉計画について理解できたか 4. 発表や討議を通して発表力の向上ができたか <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業への積極的な参加度（討議や発表など）：40% 2. 課題レポート及び予習ノート：30% 3. 総括テスト：30% 		
12. 受講生への メッセージ	<p>この授業は、福祉分野と行政分野との関連を学び、地域福祉の理論と技術を身に付けることを目的としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 遅刻、欠席の無いようにすること。やむを得ず欠席する（した）場合は書面で教員に届け出ること。 2. レポートの提出期限を遵守すること。提出期限後の提出は減点の対象となる。 3. 私語や居眠り、学習テーマ以外の作業、携帯電話の使用、その他授業を妨げる行為を禁止する。違反者は受講態度で減点の対象となる。 		
13. オフィスアワー	初回の講義において発表する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 第1セクター(民間)と第2セクター(行政)の相違点	事前学習	シラバスを持参する。事前に講義概要、シラバスについて目を通しておく。
		事後学習	行政と民間の相違点について講義の要点をノートにまとめる
第2回	福祉と制度 福祉を実現する主体と機能、社会福祉の捉え方、社会福祉と社会保障の違い	事前学習	pp. 2～10 を読んでくること。
		事後学習	社会福祉の概念の変遷について、講義の要点をノートにまとめる。
第3回	福祉の法制度の展開 時代によってどのような制度ができ、特徴があるのか、社会福祉における市場と行政の機能変化	事前学習	pp. 11～24 を読んでくること。
		事後学習	社会福祉における市場と行政の機能変化について、講義の要点をノートにまとめる。
第4回	福祉計画の概要 社会福祉と計画の関係、福祉行政と福祉計画	事前学習	pp. 25～32 を読んでくること。
		事後学習	福祉行政と福祉計画について、講義の要点をノートにまとめる。
第5回	行政の骨格と社会福祉の法制度 政府の役割と地方自治体の関係、社会福祉の法令のポイント	事前学習	pp. 34～43 を読んでくること。
		事後学習	社会福祉関連法令の専門用語をノートにまとめる

第6回	福祉行政の組織(中央及び地方政府)	事前学習	pp. 44～52 を読んでくること。
		事後学習	厚生労働省の機能について、講義の要点をノートにまとめる。
第7回	中間まとめ 確認テスト・グループディスカッション	事前学習	第1回から第6回までの講義要点の再確認をしておくこと
		事後学習	ここまでの講義内容を整理し、理解を深めること。
第8回	社会福祉基礎構造改革と福祉サービスの利用方式の分化	事前学習	pp. 53～61 を読んでくること。
		事後学習	福祉サービスの利用方式について、講義の要点をノートにまとめる。
第9回	財政と社会福祉 社会保障給付費とは、社会保障給付費の推移、社会保障関係費の動向	事前学習	pp. 64～70 を読んでくること。
		事後学習	日本の社会保障給付費の動向の特徴について、講義の要点をノートにまとめる。
第10回	地方自治体の財政と民生費の動向、民間と利用者負担	事前学習	pp. 71～77 を読んでくること。
		事後学習	日本の民生費の動向の特徴について、講義の要点をノートにまとめる。
第11回	福祉行政の専門機関と専門職 福祉関連専門機関と専門職の役割と機能	事前学習	pp. 80～102 を読んでくること。
		事後学習	福祉関連専門機関について、講義の要点をノートにまとめる。
第12回	福祉計画の基本的視点 計画と計画化、目標と目的の違いや PDCA サイクル、福祉計画の概念や主体、類型	事前学習	pp. 104～135 を読んでくること。
		事後学習	福祉計画のプロセスについて、講義の要点をノートにまとめる。
第13回	福祉計画におけるニーズ把握と評価	事前学習	pp. 136～150 を読んでくること。
		事後学習	客観的ニーズと主観的ニーズの関係や福祉計画評価技法について、講義の要点をノートにまとめる。
第14回	福祉計画における住民参加の方法	事前学習	pp. 151～157 を読んでくること。
		事後学習	住民参加の方法及び重要性について、講義の要点をノートにまとめる。
第15回	まとめ	事前学習	これまでの講義内容について復讐してくること。
		事後学習	これまでの講義内容を整理し、理解を深めること。
期末試験			